

HOSEI

UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2026

わたしたちが創る 6年間の軌跡



全力で学び、



全力で笑い、



全力で切り拓く。





History

法政大学／
法政大学中学高等学校

共に創り出す わたしたちの未来

生徒が自らの「好き」を尊重し、自分たちの頭で考え行動することで、
自分たちの未来を見つける。



1880年(明治13年)
東京法学社(講法局・代言局)設立。
在野の法律家・金丸鉄と伊藤修らによって東京駿河台に創立

1883年(明治16年)
政府の法律顧問としてフランスから招かれていた
パリ大学教授(アグレジェ) ポアソナード博士が教頭に就任。

1920年(大正9年)
大学令により初めて私立大学の設置が許可され、財団法人法政大学となる。
法学部、経済学部を設置。

1921年(大正10年)
麹町区富士見町4丁目(現在の市ヶ谷キャンパス)に
校舎を新築し移転。

1936年(昭和11年)
法政中学校、市ヶ谷(現大学校地)に創立

1946年(昭和21年)
吉祥寺に移転

1947年(昭和22年)
旧制法政中学校に新学制による中学校を併設

1948年(昭和23年)
新学制による法政大学第一中・高等学校を開設

1971年(昭和46年)
高校、服装の自由化を実施

1986年(昭和61年)
創立50周年記念式典、記念会館竣工

1990年(平成2年)
中学3クラス、高校6クラスの体制を開始

2006年(平成18年)
新制服順次導入(中1・高1より)
文部科学省から「スーパーイングリッシュランゲージ
ハイスクール(SELHi)」に指定(～2008年度)

2007年(平成19年)
法政大学中学高等学校開校(三鷹市牟礼に移転)
新カリキュラム導入
男女共学化、中学4クラス・高校6クラスの体制を開始



1946年吉祥寺に移転。
当時の旧校舎。





自主自律

自ら考え判断する 「自律した人間」を育てる

コミュニケーション能力や問題解決能力を高める

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること、それが大学付属校である本校の魅力です。身近なことから社会問題まで、自分たちの課題と向き合い、自分たち自身で解決方法を探る、そんな主体的な学びの場がここにあります。



「自由と進歩」の校風のもと、
「自主自律」を育む
生徒が主体的に活躍する

法政大学中学高等学校は、その前身の法政大学第一中・高等学校が1936年に創立し、89年目を迎えました。2007年の校地移転と共学化を経た現在、これまでの教育を検証し、日本国憲法と1947年制定の教育基本法、子どもの権利条約の理念と精神に則り、「安全・安心」「信頼と共同」「対話と討論」を重視した教育づくりに取り組んでいます。



大学付属校ならではの
スクールライフ
受験勉強にとらわれない

クラブ活動、生徒会活動、行事の企画や運営など、自分が本当に打ち込みたいことに全力を注ぐことができます。自分たちで考え、自分たちで創るからこそ得られる達成感。お互いの考えをぶつけ合い、みんなで1つのことを成し遂げていく中で築かれる仲間達との信頼感。決して授業だけでは得られないたくさんの経験は、何事にも代えがたい貴重な財産になります。



仲間と協力し成し遂げ続ける
学校生活
他者や社会と関わる

学校生活のあらゆる場面で求められるのは、生徒が自ら考え、判断し行動することです。そして、自分だけではなく仲間の主体性も尊重しながら、互いに力を合わせて物事に取り組む必要があります。そのためには協調性と、問題解決能力が重要になります。生徒同士や、教員・保護者・地域の方々との対話やコミュニケーションなど、様々な社会生活を経験する中で、大きく成長します。

教科紹介

平日6時間・土曜日4時間という十分な学習時間の中で、
高校3年生での探究活動や
大学での学びのための土台を固めます。



英語

本校の英語学習の最終的な目標は次の2つです。

- ・英語で書かれた文章を読み、その内容を正確に把握し、それに対する自分の考えを英語で書いたり言えたりすること
- ・プレゼンテーション能力と対話能力を身に着けること

中学における暗唱、リテリング、スピーチ、高校における英語スピーチコンテスト、プレゼンテーション、そしてディベートなど、英語で自分の考えを伝える、そして相手の考えを理解する経験をしていき、中高6年間で英語による思考力や世界の人と対話するための力を養います。

美術

美術では、創造活動を通して美的体験を豊かにし表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、美術に親しみ愛好する心情を養います。中学ではまず鉛筆デッサンに取り組み、美術に必要な「モノの見え方、捉え方」といった基礎理論を学び、その後の作品制作につなげていきます。また皮革や金属といった素材を自身の手で扱いながら個々のイメージを具現化していきます。高校では、油絵や、デッサンといったアカデミックな内容に取り組みます。そして実技だけではなく西洋美術史も併せて学び教養を身につけます。

音楽

「芸術を理解し、愛好する」という理念に基づき実技、理論、音楽史の三分野を通じて、音楽の魅力を味わいながら知識を高め、そこから自己表現力の育成を目指す授業を行います。具体的には、中学では身体の発達とともに無理のない歌唱やリコーダー、ギターといった楽器に取り組みます。高校では中学よりさらに一歩踏み込み、歌唱では幅広い表現力が身につく歌唱、楽器演奏はグループでアンサンブル演奏など発展的な表現を習得します。音楽理論も実技で体感しながら学ぶことによって、作曲など自己探求も可能な取り組みを目指します。

保健体育

【体育】健康や体力について理解し、運動の合理的な実践を通して健康の増進と体力の向上を図り、心身の調和的発達を促すとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てることを目標にしています。また、運動の実践などあらゆる機会を通して、礼儀を重んじ、あいさつができる、ルールを守ることができる生徒の育成にも努めています。

【保健】個人および社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく能力を育てることを目標としています。特に、必要に応じて実習を取り入れ、健康を身近にとらえることができるようにしています。

技術

人は現在まで、様々なものを作り続けてきました。作るという事は、自然とかかわり新しいものを生みだしていく行為です。授業では単に作るだけでなく、歴史の中で人間がどのように技術を発展させてきたか、科学的知識も深めて技術を習得します。木材・金属・プラスチックなどの材料加工、生物・植物育成、エネルギー、情報に関する技術を中心に学びます。私たちの生活と社会、環境とのかかわりについても考え、主体的に創造・工夫して技術を活かせる力などを身につけることも目標としています。

生活文化・家庭科

衣食住、家族や保育、消費生活など、日々の暮らしについて学び、人間らしく生きる基盤となる生活力を身につけていきます。さらに、課題解決のために互いに協力しあいながら、社会を創る主権者としての意識や態度を育みます。以下、授業例です。

- ・自分らしく清潔に着るために～繊維の種類、洗濯の基礎を学ぶ(中1)
- ・ハンバーグの調理 加工食品との食べ比べ(中1)
- ・新聞記事より子どもをめぐる問題を考える(中3)
- ・硬水・軟水の飲み比べから学ぶ日本の食文化(高1)
- ・中絶or妊娠継続？出生前診断について考える(高1)

情報

情報の授業では①情報化社会に対応する能力と②計算論的思考力育成を目指しています。

①日々進化していく情報社会に対応していけないと犯罪の被害者や加害者になってしまうこともあります。今の世の中がどうなっているのかを授業で学びます。

②分岐と繰り返しと並列実行による情報処理能力の育成のためにpythonという言語を使ってプログラミングを行います。トライ＆エラーを繰り返すことで最適な解を求める練習を行います。

一緒に情報化社会の荒波を乗り越えていきましょう。

数学

数学はいわゆる「理系」科目だけでなく、広く「自然科学」「社会科学」の様々な分野を学ぶための道具となります。そのため、本校では文系・理系を問わず最終学年の高3まで必修授業として数学を学びます。物事の本質をとらえ、論理的な思考力を持って問題を解決に導いていく能力は、将来どのような進路を選択するにても必ず必要となるものです。本校の数学科では、それらの能力の獲得を目指したカリキュラム設定や授業を実施しています。中3、高1では、個々の能力に応じた習熟度別編成クラスにおける授業なども実施しています。

国語

本校の国語教育は、「ことば」の学習を通して自己と他者に対する理解を深め、日々変化していく社会の中で生きる力を育てることを目指しています。

中学では「読む・書く・話す・聞く」の活動を軸に、授業を「読解」と「表現」とに分け、インプットとアウトプットを繰り返しながら「ことば」の力を磨いていきます。

高校では評論・近現代の文学・古典作品など多様な文章を読み解くことによって、論理的に考える力や表現力を養います。自ら問いを立て、対話の中で考えを深めることを目指しています。

理科

「理科」とは「自然のしくみ」を考えるための科目です。理科では、我々の生きている地球や宇宙、モノ（物質）の成り立ちについて、また、生き物の生き様や体のしくみについて考えます。理科の勉強を通して自然の全体像を習得し、社会人としての基礎教養を身に付けます。皆さんが自然現象および自然界をしっかりと認識できる力を身につけ、正しい自然観をうちたてることを目指します。科学と人間との関わり合いについても学習し、自然とのつきあい方を考えましょう。

社会

私たちが生きている社会がどのように動いているのかを知り、その担い手となるためには、どのように考え、行動すればよいのかを学びます。特に平和で民主的な社会の形成者となることができるよう、その基礎となる知識や考え方を習得し、対話を通して学び合い、考える力を養います。社会科のそれぞれの科目・分野の学習を通して、一人ひとりが地球的な諸課題について学び、解決に向けて行動できる力を得ることを通して、主権者としての意識を育むことをめざしています。

C A R R I C U L U M

JUNIOR HIGH SCHOOL

カリキュラム・中学編

将来につながる 基礎を身につける。

基礎学力の定着と信頼関係の構築

法政大学での学びやその先の将来を豊かにすることをイメージし、基礎学力と学習習慣を身につけます。その過程で、共に学ぶ仲間・教員との信頼関係が築かれます。

POINT 1



基礎学力の定着と学習習慣の確立

英国数の3教科に重点を置き、基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指します。国語では「読解」と「表現」の授業を、数学では1, 2年次「代数」と「幾何」に分け並行して学んでいきます。英語では「英語」「英会話」に加え、中1では「フォニックス」、中2・中3では「英語演習」の授業を展開しています。「フォニックス」では綴りや発音のルールを身に付けます。中1・中2は火曜と木曜の放課後に英語と数学の指名補習「リメディアル」を設置し、フォローアップを行います。

POINT 2



信頼関係の構築

入学後すぐに行われるオリエンテーションでは、クラスメイトだけではなく学年全体でも交流する企画を設け、その後の確かな人間関係づくりにつなげます。先生方とも、このオリエンテーションを通して仲良くなります。長い「法政」での生活の中で核となる友人、教員との信頼関係を中1の早い段階で構築します。学校生活以外の普段の日常生活の中で大切になる「自己と他者との関係の在り方」の教育も行っていきます。



DAYLY SCHEDULE



中学校教育課程	中学1年	国語 5	社会 4	数学 6	理科 3	英語 6	音楽 1.5	美術 1.5	保健体育 3	技術・家庭 2	道徳 1	特別活動 1	学習の時間 (2)	総合的な 学習の時間 (2)	計 34 (36)
	中学2年	国語 5	社会 4	数学 5	理科 4	英語 7	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術・家庭 2	道徳 1	特別活動 1	学習の時間 (2)	総合的な 学習の時間 (2)	計 34 (36)
	中学3年	国語 5	社会 4	数学 6	理科 4	英語 6	音楽 1	美術 1	保健体育 3	技術・家庭 2	道徳 1	特別活動 1	学習の時間 (2)	総合的な 学習の時間 (2)	計 34 (36)

○2025年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。



EVENT 学校行事

生徒主体の行事運営を通して 主体性を育む

中学校で行われる多くの行事は生徒実行委員会が主体となり、教員の手を借りながらも自分たちで運営します。その経験の中で教科の学習だけでは得られない学びを手に入れます。特に12月に各学年で行われる行事では、①事前調査②現地調査③事後発表という学びのスタイルを作り上げ、高校での探究的で深い学びにつながる力を養います。

詳細は次ページへ

EVENT

JUNIOR HIGH SCHOOL

年間行事・中学編

4月
入学式



4月
オリエンテーション



6月
陸上競技大会



7月
芸術教室

7月
林間学校 (中2)



12月
修学旅行 (中3)



フィールドワーク (中2)



東京ウォーキング (中1)



9月
鈴掛祭



1月
スキー教室 (中1)



生徒会長からのメッセージ

好きなことに挑戦できる場所

法政大学中学校は生徒1人ひとりが自分の好きなことや挑戦したいことに積極的に取り組める場所です。2025年度生徒会執行部は「同心共力」というスローガンを掲げ、生徒全員が楽しく学校生活を送れるようにすることを目標に活動しています。このスローガンは生徒の仲が良いことはもちろん「好きなことに積極的に取り組める」環境だからこそ掲げられたのだと思っています。自ら学ぼうと思える学校で、主体的に様々なことに挑戦することでかけがえのない思い出と経験を得ることができます。

中学生会長 K・S



CARRICULUM

SENIOR HIGH SCHOOL

カリキュラム・高校編

将来を見据えた 多彩な授業内容。

なりたい自分に向かって具体的に行動する

高校では文系理系といったコース分けをせず、
生徒の多様な目標に対応するため高校3年間ですべての教科を学習します。
自らの目的や進路に応じた発展的な内容の選択授業を通し、
卒業後「自ら学ぶ」ことができる力を育てます。

POINT

1

学習と諸活動を豊かにする関係性の構築

高校から新たに加わる約100名の生徒と、法政中学から進学する約140名の生徒は、高1から混合クラスで生活します。そうすることで互いに新たな刺激を与え合い、学び合うことができます。高度になる各教科の学習と、諸活動との両立を図り、充実した学校生活を送るためには、友人関係やクラス・学年の団結力が重要となります。その新たな関係性を4月の入学後に行われるオリエンテーションで構築し、その後の様々な行事を経験することで団結力はさらに強いものに変化します。



POINT

2

大学につながる学び

本校では日々の多くの取り組みを通して、自分の学びたいことや実現したいことを具体化させ、卒業後のキャリア形成に繋がります。
その中でも「総合的な探究の時間」では、①【自己理解・自分らしさ】、②【他者理解・コミュニケーション】、③【社会課題・解決の探り方】の3つを目標として掲げて取り組んでいます。高2ではさまざまな活動を通じて、自分は何者なのかを

客観的に理解し、自分の生き方を見つめ直すと同時に、自身の考えを他者と共有し合うことで協働性やコミュニケーションスキルを身につけていきます。高3では自分の興味・関心を軸にテーマを設定し、個人やグループで探究活動を進めます。
また、法政大学への進学が内定した生徒は高3の3学期に多種多様な講座から選択して学習する「三学期講座」に取り組みます。



「選択」する経験をとおして、 自らの将来を考える。

【必修選択講座】

高2・高3では、将来の自分の進路に合わせて、自然科学や人文・社会科学、語学など様々な領域から選択して学習します。進路に合わせ、文系と理系の両方の領域から授業を選択することも可能です。専門的な内容やスキルを先取りした授業が設置され、大学進学後の学習を一歩リードできる内容になっています。

【夏期・冬期特別講座】

「自分で進路を選択すること」をテーマに、夏期・冬期休暇前のそれぞれ2週間、特別講座を開設しています。普段の授業では学べない様々なジャンルの授業が開かれ、自分の将来を見据えながら選択していきます。「選択」を重ねることにより、必修選択講座や学部学科選び、さらにその先の自分の将来を考えさせる内容となっています。

【夏期カナダ語学研修】

2024年度より、オンタリオ州の州都トロントにて16日間の語学研修を行っています。研修中はトロント大学内にあるSt. Michael's Collegeでのサマープログラムを体験します。英語で学び、英語で発信していく力を身につけるだけでなく現地の学生との交流を通して、社会性と国際性を育む機会となります。



DAYLY SCHEDULE



高校教育課程	高校1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ or 美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	（学校設定科目） 英語会話	家庭基礎	情報Ⅰ	ホームルーム活動	計
		2	2	2	2	4	2	3	2	1	2	3	2	2	2	2	1	34
	高校2年	論理国語	文学国語	世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	物理基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ		必修選択	総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計
		2	2	3	2	4	2	2	2	2	1	4	2		4	1	1	34
	高校3年	論理国語	文学国語	日本史探究	政治・経済	数学C	物理	化学	体育		英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ		必修選択		総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計
		2	2	2	2	2	2	2	3		4	2		8		2	1	34

○2025年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

EVENT

SENIOR HIGH SCHOOL

年間行事・高校編



4月
入学式



4月
オリエンテーション



6月
スポーツ大会



9月
鈴掛祭



1月
スキー教室(高1)



1月
修学旅行(高2)



12月
OB・OG講演会(高2)

7月
文化行事



生徒会長からのメッセージ

自分と向き合う3年間に

法政大学高等学校の最大の魅力は、自分の「好き」と本気で向き合える環境が整っていることだと考えます。必修選択授業で幅広い分野の授業が受けられることや、文理選択がないことなど、付属校ならではのチャンスが学校生活のあちこちにあふれています。私自身も、生徒会活動と部活動の両立に加え、必修選択授業では簿記を学ぶなど、様々な挑戦をすることができました。これからも生徒会執行部はこの環境を守り1人ひとりの「好き」を尊重し応援し合える学校を目指して、活動に全力を尽くしていきます。

高校生徒会長 I・Y



法政大学
推薦資格取得者
〔2024年度卒業生237名〕

97.4%

推薦資格
取得者 231名

TO THE NEXT STAGE

法政大学への 高い進学率

付属校のメリットをいかし、進路を切り拓く

法政大学中学高等学校は法政大学の付属校であり、例年85%前後の卒業生が推薦で法政大学へ進学しています。法政大学への推薦資格を得るためには、高校3年間の総合成績をはじめ、英語資格試験や基礎的思考力確認テストで法政大学が定める基準を満たすことが条件となりますが、例年95%以上の生徒が基準をクリアしています。法政大学の推薦資格を保持したまま、一定の条件の下で他大学受験ができる制度もあり、幅広い選択肢の中から自分の進路を選択することができます。

市ヶ谷キャンパス

法・文・経営・国際文化・
人間環境・キャリアデザイン・
GIS・デザイン工学部

多摩キャンパス

経済・社会・現代福祉・
スポーツ健康学部

小金井キャンパス

理工・生命科学・
情報科学部

MERIT 1 高大連携プログラム

法政大学のアイデンティティや教育目標を理解するための法政大学主催のプログラムとして、高大連携プログラムは、「大学で学ぶ意義」と題した講演をはじめ、座談会、付属校生へのメッセージと質疑応答などを行っています。その他にも希望者を対象として、総長杯英語プレゼンテーション大会、理系学部の授業を体験できる「ワンデーサイエンスカレッジ in 法政小金井キャンパス」(8月実施)や法政大学の留学生と交流する「HOSEI Summer English Camp」(8月実施)など、様々な高大連携のプログラムがあります。

法政大学総長からのメッセージ

法政大学中学高等学校の生徒へ期待すること

「自主自律の精神」——これは私にとって、非常に響きのよい言葉です。「自主」とは、自発的に考え、自ら行動する姿勢であり、学校では自分自身が学びの主体であることを意味します。また、自分の判断で行動することは、選択や決断に責任を持つということであり、その責任を引き受ける力が「自律」と深く関連しています。「自律」は、時間や健康管理などを含む自己管理の力であり、計画性や継続力にも通じます。自主性と自律性は、将来大学で学ぶ際に欠かせないだけでなく、その先の人生の礎ともなる資質です。

「自主」は「自由」との親和性が高く、本学の学風である「自由と進歩」にも通じ、のびのびとした成長を連想させます。一方で、「自律」は自己制御や抑制を想起させるため、「自由」と対立するように感じられるかもしれませんが、法政大学およびその付属校において「自由」とは、責任を持って自ら考え、行動することを意味します。

法政大学憲章に込められた「自由を生き抜く実践知」とは、誰もが自由に生きられる多様な社会の実現を目指し、自由な思考と行動を通じて、自らの現場で実践しながら知性を磨いていくことです。ここでいう「実践知」とは、単なる実学ではなく、人として大切にすべきことや、目指すべき価値について深く考え、それをどのように実現していくかを柔軟に模索する知性を指します。そして、このような知性を育むことこそが、法政大学およびその付属校の使命であると考えています。

これらの理念は、法政大学の「グローバル大学実現基本方針」における重要な柱の一つである「グローバルマインドセットの涵養」とも親和性があります。「グローバルマインドセット」とは、より多くの人々がよりよく生きられる世界の実現を目指し、グローバルな文脈の中で、自分自身そして自分の行動を意識し、柔軟な思考力をもって、習得した知識や技術を未知の状況でも活かして生き抜く力のことであり、私たちは捉えています。

法政大学中学高等学校においては、「自主自律の精神」の土台を築きながら、知識を積み重ね、さまざまな課題に対して自発的に取り組むことが求められます。受け身ではなく、先生や仲間と力を合わせ、自律的に学ぶ力を少しずつ育んでいってほしいと願っています。大学では、そうした力をもとに自由な学びを存分に味わい、グローバルマインドセットを培い、世界のどこでも生き抜くことができる力を身につけていくことが期待されます。中学・高校時代に真剣に学び、取り組んできたことは、必ずや皆さんの将来に生きてくると私は確信しています。



法政大学総長 ダイアナ・コー

MERIT 2 OB・OG講演会

法政大学に進学した卒業生を各学部から招き、どんな夢や目標を持ち、大学でどんなことを学んでいるのか、そのために高校時代にどんなことが大切なのかなどをテーマに講演してもらいます。「なりたい自分」をイメージするためには、大学で活躍している卒業生の姿や話は大いに参考となります。高校2年生の冬に行われるOB・OG講演会をきっかけに、自分の進路をより具体的なものにし、高校3年次の学習につなげていきます。

MERIT 3 進路情報室

高校卒業後の進路を決定していくにあたって、生徒一人ひとりに合わせてサポートできるよう進路情報室を設置しています。ここでは教員や職員と面談・相談することができ、幅広い分野の中から、自分にあった進路選択ができるようにサポートしています。法政大学の各学部の研究内容をはじめ、他大学入試に関する情報など、様々な資料や情報を生徒に提供しています。

法政大学進学実績

法学部	法律学科	17
	政治学科	7
	国際政治学科	6
	哲学科	3
	日本文学科	7
文学部	英文学科	5
	史学科	4
	地理学科	3
経済学部	心理学科	2
	経済学科	13
	国際経済学科	10
	現代ビジネス学科	6
	社会政策科学科	5
社会学部	社会学科	12
	メディア社会学科	8
経営学部	経営学科	12
	経営戦略学科	9
	市場経営学科	8
	国際文化学科	10
国際文化学部	国際文化学科	10
人間環境学部	人間環境学科	13
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	2
	臨床心理学科	3
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	12
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	5
GIS	グローバル教養学科	4
	コンピュータ科学科	2
	デジタルメディア学科	3
情報科学部	建築学科	3
	都市環境デザイン工学科	3
	システムデザイン学科	3
	機械工学科（機械工）	3
理工学部	機械工学科（航空操縦）	0
	電気電子工学科	0
	応用情報工学科	2
	経営システム工学科	3
	創生科学科	3
生命科学部	生命機能学科	2
	応用植物科学科	2
	環境応用化学科	0

※航空操縦学科については、2025年以降の新入生の受け入れを中止しています。詳しくは、大学のHPをご覧ください。

他大学への進学

現行の推薦制度では、法政大学への推薦権を保持したまま、一定の条件のもとで、他の国公私立大学を受験することが可能です。生徒一人ひとりの進路選択を、担任や進路情報室と連携してサポートしています。

他大学合格実績抜粋(2022年～)

京都大学	慶応義塾大学	国際基督教大学
北海道大学	立教大学	星薬科大学
早稲田大学	杏林大学	上智大学

INTERVIEW with GRADUATES

卒業生インタビュー

法政中高のその後

社会にはばたく卒業生

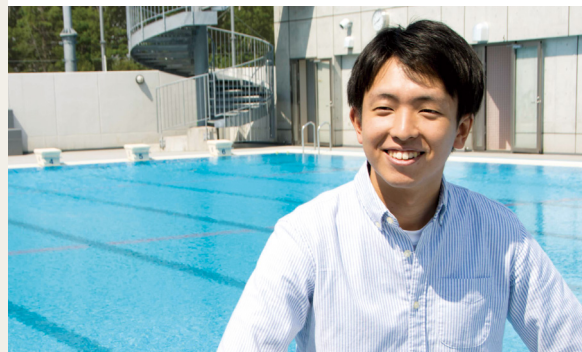
2万人を超える卒業生を輩出している法政大学中学高等学校。

その中には、自分の中高時代を懐かしみつつ、再び母校を訪れる OB・OG も多くいます。

まさに、校歌にある「よき師よき友つどひ結べり」の精神。

彼らが、なぜ再び母校に帰ってきたくなるのか、その魅力とは何か

——卒業生に聞いてみました。



まずは夢を持つこと
そしてそれに向かって行動していくこと

住友商事株式会社 2012年度卒業 K.R.

在学中に印象的だったこと

様々な授業、テスト、水泳部での活動、卒業論文の執筆など思い出は多いのですが、オーストラリアでのホームステイや、海外修学旅行（シンガポール）、ドイツ派遣等海外に触れる機会が多かったことにとても感謝しています。海外に興味を持つ要因の1つになったと思います。

現在の進路を志望した理由

大学進学後、留学などの経験を経て海外で国際協力に携わるのが将来の夢となりました。民間企業の立場から、自社・顧客・社会にとってwin-win-winのビジネス（＝国際協力）を行いたいと思ったことがきっかけで、社会の根底を支える社会インフラに携わる業界を志望し、最終的には現在の会社に入社を決めました。

在学中に経験して、今の職業に活かされていること

部活動と学校外のスイミングクラブの活動を両立するには多くの葛藤がありました。最終的にはどちらもやり切ると腹を決めたわけですが、この時の考え方や、その後の行動は今も大切にしています。出来るだけ全てやるということを意識して生活しています。



やってみたいことはどんなに小さなこと
でもチャレンジすることが大事

株式会社バンダイ 2012年度卒業 F.N.

在学中特に印象に残っている出来事

実行委員としてシンガポール修学旅行の実施要項作成に関わりました。きちんと読んでもらえるよう内容を工夫して作成すると、皆楽しそうに真剣に読み込んでくれました。この経験から日々の生活に関わる商品をもっと面白く豊かなものにしたいと考え、現在の就職先の玩具メーカーを志望しました。現在は子どもの日常生活を応援できるような商品づくりを目指し、企画開発を担当しています。

在学中に経験して今の職業に活かされていること

自分の考えをまとめ、伝え、実行するための思考力です。生徒主体の学校行事や部活動の中で先生方は生徒同士で考える機会をたくさんくださいました。その結果、社会人としてのベースの考え方を高校時代の経験から身につけることができました。また選択授業やゼミのプログラムは幅広い選択肢から興味のある分野を選択することができたおかげで、自分が将来何をやりたいのかを早めに明確にすることができました。大学の付属校だからこそ、本当に自分がやりたいことを探す時間と気づききっかけがたくさんありました。



何か1つではなく、
やりたいこと全てに取り組める環境

2022年度卒業 法政大学 法学部 法律学科 3年 T.Y.

現在の進路に進学してよかったと思うこと

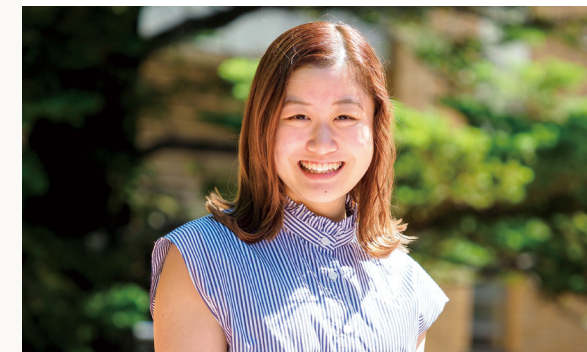
近年、たくさんの情報を簡単に得ることができ、個人の意見や考えを主張する機会が増えました。多様な価値観があり異なる意見が多く存在する現代では、正しい意見や情報を見分けることがより難しくなってきました。大学で法律を学ぶなかで、過去の判例や論文などの学習を通して思考の方法を身につけることができます。違った視点から物事を捉える力を身につけることができています。

在学中に学んだことや経験したことで役立っていること

高校での部活動でキャプテンを務めたことです。悩むことも多かったけれど、解決したい問題に対して一つの考え方に固執するのではなく、多角的な視点で考えることの大切さを身につけることができました。この経験が大学での部活動でも活かしていると感じています。

未来の後輩へのメッセージ

やりたいこと全てに本気で取り組めることが法政の良さだと思います。受験勉強の心配をせず、大学までの長い期間で自分と向き合うことができます。学校生活を楽しむ中で自分のやりたいことや得意なことを見つけていくこともでき、大学で学ぶことを先取りして勉強することもできます。私も選択授業を通して大学でもスポーツを続けることを決意できました。皆さんが入学してくれることを楽しみにしています！



法政中高で学んだことすべてが
今の自分の土台

2022年度卒業 法政大学 グローバル教養学部
グローバル教養学科 3年 I.K.

在学中、特に印象に残っている出来事

部活動が特に印象に残っています。たくさんの方々を支えてもらいながら、同じ目標に向けて仲間と絆を深めた6年間の日々は今でもかけがえのない思い出です。学校行事も印象に残っており、卒業後も仲間と語り合うほどです。鈴掛祭(文化祭)も、法政大学中学高等学校のモットーである自主自律を体感できる実りある行事でした。

在学中に学んだことや経験したことで現在活かされていること

現在はグローバル教養学部(GIS)で英語を用いた講義に参加していますが、法政大学中学高等学校で学んだすべての教科が自分の大きな土台となっていると実感しています。また、日々の授業内容だけでなく、高校3年生の時に取り組んだ卒業論文も自分の興味のある分野を知るきっかけになり、現在も大学で授業選択をする際にとても役立っています。

これからの人生で目標としていること

日本だけではなく世界と繋がりのあるような仕事に就いて、コミュニケーションをとりながら誰かに笑顔を届けられる存在になりたいと思っています。大学生の間に法政大学中学高等学校で学んだことを最大限活かして、深い教養を身に付け、問題を発見し、多角的な視野から解決策を考えられる人になりたいです。

CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

付属校ならではの環境で 新たな自己を発見する

課外活動に心置きなく打ち込める環境

学年を超えた人間関係から
多くのことを学びます。

クラブ活動は、単なる趣味の延長ではなく、クラブ活動でなければ得られない多くの経験や学びがあります。学年を超えた集団での活動は、人間関係も広がります。また強い絆で結ばれた仲間を見つけたり、協力しながらやり遂げる喜びを味わったりできます。また根気強くやり遂げる強い心を培うこともできます。クラブ活動や課外活動などに主体的に取り組み、新たな自分を発見して、自分の可能性を広げることができます。クラブ活動などを通じて自分を客観的に見つめ、学習や生活、将来の進路を考えます。

CLUB LINE UP クラブ紹介



CAMPUS

豊かな緑に囲まれた環境

中高6学年が共に学ぶ、
付属校らしい
充実した教育環境

体育施設

グラウンドは全面人工芝。体育館は地下1階、地上3階建て。メインアリーナ、サブアリーナ、屋外プール、屋上テニスコート以外にも3階には走路とトレーニングルーム、地下1階にトレーニングルームと部室があります。

グラウンド



体育館メインアリーナ



プール



弓道場



テニスコート



剣道場



南門



高校棟

地下1階に高1、1階に高2、2階に高3教室が配置され、学習室、理科室、社会科教室、美術室があります。地下1階から3階までは吹き抜け部分もあり、屋上庭園もあります。中学棟とは地上階の各フロアでつながっています。

マルチメディア教室



美術室



理科室



中学棟

1階に中1、2階に中2、3階に中3教室が配置され、ガラス張りの螺旋階段で各階が繋がっています。各フロアの中心に学習室があり、工作室、被服室、調理室、音楽室があります。高校棟とは各フロアでつながっています。

音楽室



工作室



調理室



法政中高HP
360°ビュー

東門



1 中庭



2 食堂



3 図書室



4 オレンジホール



5 カウンセリングルーム



MESSAGE

可能性は無限大、自分の人生を生きる

法政大学中学高等学校 校長 植月文隆

中学・高校という時期は、自我の目覚めとともに人格の形成が進み、身体的・心理的に激しく変化します。そして、他者との出会いが自己理解や価値観の形成に繋がっていきます。さまざまに揺れ動く中高時代を過ごすにあたって、受験生みなさんに伝えたいことは以下の4つです。

自分しかかけがえのない存在であるということ

一人ひとりが異なる遺伝子を持っていて、全く同じ人は自然界には存在しません。地球上には81億人もの人間が存在していますが、自分に代わる人は一人もいないのです。自分という存在は、かけがえのない存在であることを忘れないでください。

互いを「個人」として尊重すること

地球上に自分と同じ人はいないということは、つまり自分と異なる人しかいないということです。学校でも社会でも、まずはお互いに「違う」ということを認識することが大切です。考え方や感じ方などは違って当たり前。さまざまな人と関係を築いていくなかで、違いを理解し認め合い、個人として尊重し合えるようになってほしいと願っています。

可能性は無限大であるということ

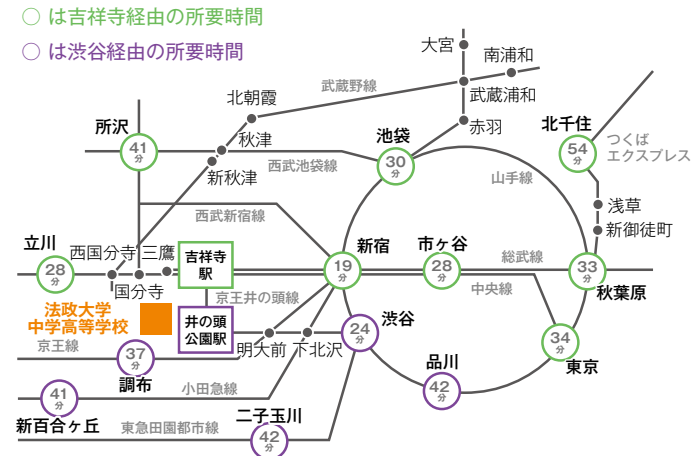
授業や行事、部活動などはもちろん、高大連携プログラムや課外活動を通して、自分の興味や関心を広げ、とことんのめり込んでください。チャレンジや失敗を繰り返していくなかで、さまざまな問いや課題が見つかるはず。それらを「なんとか解決したい」とあれこれ考えて、行動してみてください。ここには、自らの可能性をどこまでも追い求めることのできる環境が整っています。

自分の人生を生きる

「自ら考え、進んで行動する」。われわれは常に「誰かが」ではなく「自らが」、世界や日本の未来を創造する当事者であることを忘れてはなりません。平和で民主的な社会を形成するために、主体的に、そして創造的に自分の人生を生きてください。

法政大学中学高等学校は、安全で安心な環境のもと、違いを受け入れ助け合い、互いの存在を大切に思うことができる、そのような学びの場であり続けます。ぜひ、この学び舎で一生の友と出会い、互いに学び合い、豊かな人間性を育み、自分の人生を生きる力を培ってってください。

路線図



※井の頭公園駅平日AM8:00前後到着での乗り換え時間を含めた所要時間です。
※調布からは京王線「明大前駅」経由、新百合ヶ丘からは小田急線「下北沢駅」経由。

交通案内

徒歩の場合

- 京王井の頭線「井の頭公園駅」下車 徒歩約12分
- JR線「吉祥寺駅」下車 徒歩約20分

自転車通学の場合

- 本校から半径10kmの範囲に自宅がある場合のみ許可制で通学が可能です。
- 自宅以外からの自転車通学は認めていません。

バスの場合

- JR線「三鷹駅」より「久我山」行き 京王バス約9分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
- 京王井の頭線「久我山駅」より「三鷹」行き 京王バス約10分「西ヶ原」バス停下車 徒歩約4分
- 京王線「調布駅」より「吉祥寺」行き 京王バス・小田急バス約25分「下連雀」バス停下車 徒歩約12分

※バスの所要時間は時間帯、交通状況により異なります。

アクセスマップ



入試情報

中学

2026年度 入試日程

- 2月1日(日)
- 2月3日(火)
- 2月5日(木)

高校

2026年度 入試日程

- 【推薦入試】 1月22日(木)
- 【一般入試】 2月10日(火)

2026年度入試向けイベント

中学・高校入試イベント

学校説明会

- 6月21日(土)
- 7月5日(土)
- 7月19日(土)
- 9月27日(土)
- 10月4日(土)
- 10月18日(土)
- 10月25日(土)
- 11月15日(土)

施設見学会

- 7月26日(土)
- 8月2日(土)

オープンキャンパス(一部予約)

7月12日(土) 9:00開場

入試直前対策講習会(要予約)

12月20日(土) 8:30～11:00



法政中高HP
入試情報

※各種イベントは予約制です。詳細は本校ホームページ「入試情報」をご確認ください。



正誤表

本書に下記のとおり誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

記

9 頁	左上タイトル	(誤) CARRICULUM	→	(正) CURRICULUM
10 頁	ページ中央	(誤) DAYLY	→	(正) DAILY
13 頁	左上タイトル	(誤) CARRICULUM	→	(正) CURRICULUM
14 頁	ページ中央	(誤) DAYLY	→	(正) DAILY

以上